

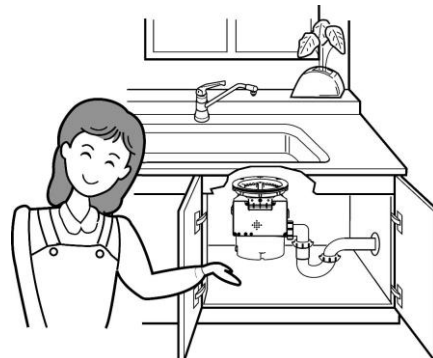
ディスポーザ 取扱説明書

型 式

YD131 (手動給水)

YD131A (自動給水)

保証書付



このたびはディスポーザをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
とくに、「安全上のご注意」(1～3ページ)は、必ずご理解していただき、お守りください。
お読みになった後は、大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

ディスポーザは、家庭で出される生ごみを粉碎し、水とともに専用の排水管に流し出す装置です。

YD131 : 手動で給水するタイプのディスポーザです。

YD131A : ディスポーザ運転時に水栓から自動で水が流れるタイプのディスポーザです。

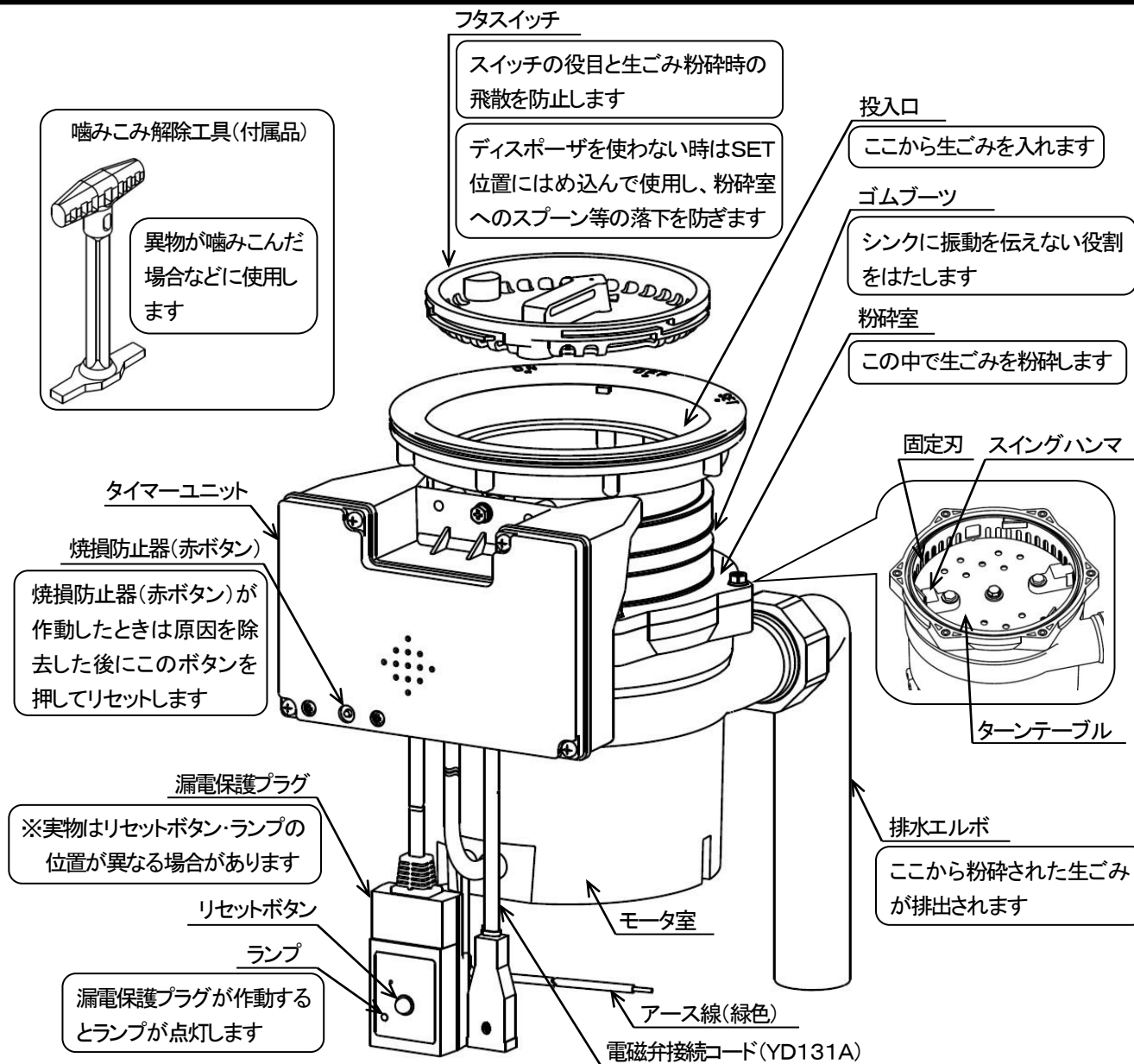
一部の指定外地域を除き、ディスポーザ単独での使用はできません。
ディスポーザ排水処理槽との併用でのみ使用できます。

もくじ

	ページ
● 各部の名称とはたらき	1
● 安全上のご注意	1
● ご使用の前に	3
● 粉碎物についてのご注意	4
● ご使用方法	5
● 運転後、粉碎室に生ごみが残っている場合	6
● 上手な使い方	6
● ディスポーザを使わない時	6
● お手入れ方法	7
● 異物が噛みこんだ場合の復旧方法	8
● 故障かなと思ったら	9
● 仕 様	10
● アフターサービスと保証	11

各部の名称とはたらき

必ずお守りください



安全上のご注意

ご使用前に必ずよく読んだ上で、正しくお使いください。

ここでは人身事故や家財の損害を未然に防止するために必ずお守りいただく内容を説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



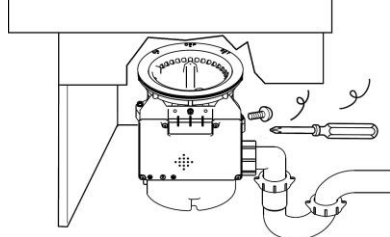
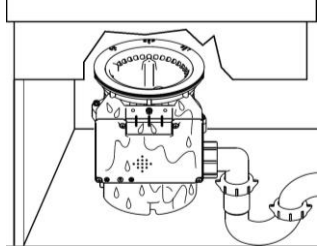
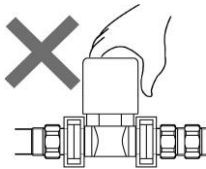
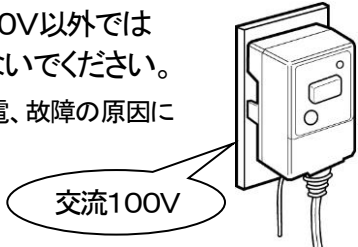
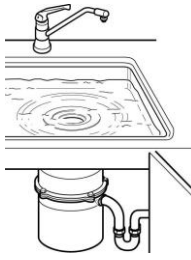
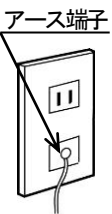
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

安全上のご注意(つづき)

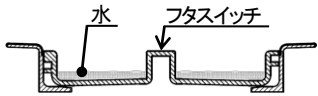
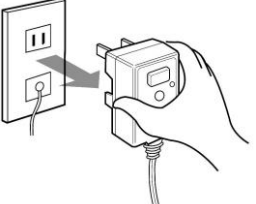
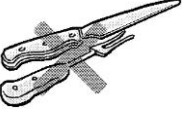
警告

	●電源コードを破損するようなことはしないでください。 〔改造する、傷つける、ねじる、引張る、熱器具に近づける、はさむなど〕  ・感電・ショート・火災の原因になります。 電源コードの修理・改造・固定は専用相談窓口 に依頼してください。	 ●分解・修理・改造は絶対に行わないでください。  ・火災、感電、誤作動、ケガの原因になります。 修理は専用相談窓口に依頼してください。
	●本体やコード類をぬらさないでください。  ・漏電・感電・誤作動の原因になります。	 ●漏電保護プラグにホコリや水滴などが付着していないか確認の上、コンセントに漏電保護プラグをしっかりと差し込んでください。 ・ホコリや水滴が付着したり、コンセントに漏電保護プラグがしっかりと差し込まれていない場合、火災、感電の原因になります。
	●電磁弁(YD131A)の分解・修理・改造は絶対に行わないでください。  ・火災・漏電・感電・ケガの原因になります。 ・修理は専用相談窓口 に依頼してください。 電磁弁	 ●交流100V以外では使用しないでください。 ・火災、感電、故障の原因になります。  交流100V
	●シンクに水をためているときは、絶対に運転しないでください。  ・本体やシンクが大きく振動し、本体が落ちて、ケガをしたり、シンクの破損・水漏れの原因になります。	 ●アース線を確実に取付けてください。  アース端子 ・故障や漏電の時に感電する原因になります。 ・アースの取り付けは専用相談窓口 にご相談ください。(D種接地工事)
	●断水時はディスプレイを使用しないでください。 ・配管の詰まりの原因になります。	 ●粉碎音がする間は、フタスイッチを開けないでください。 ・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。
	●ぬれた手で漏電保護プラグに触れたり、抜き差しをしないでください。  ・感電の原因になります。	 ●フタスイッチには磁石が内蔵されています。 ・時計等、磁石の影響を受けるものを近づけないようにしてください。 ・金属が付いた場合はきれいに 取り除いてください。

安全上のご注意(つづき)

必ずお守りください

警告

	●タイマーユニット左下部にある焼損防止器の赤ボタンを、テープなどで固定しないでください。 ・モーターに異常負荷がかかり、火災の原因になります。		●磁石を使用した製品を投入口に近づけないでください。 ・フタスイッチが投入口に収まっていないときにディスポーザが誤作動し、ケガの原因になります。
	●シンクに60℃以上の高温水を続けて流さないでください。 ・配管部品の変形や劣化が発生し、水漏れの原因になります。 		●投入口の中に手を入れないでください。特にお子さまには注意してください。 ・粉碎部内のスイングハンマなどで、手にケガをする原因になります。 
	●ディスポーザを運転するときは、必ず水を流してください。 ・水を流さずに運転すると、スイングハンマとターンテーブルの接触によるキズが大きくなり、騒音や振動が大きくなる原因になります。		●タコ足配線は絶対にしないでください ・他の器具を併用すると分岐コンセント部分が異常発熱して発火の原因になります。
	●運転の際は毎分8リットルの給水を行ってください。 (水量の目安は運転中、フタスイッチの表面に水が溜まるぐらいです。) ・水量が少ないまま運転し続けると、配管の詰まりの原因になります。 		
	●浄水器付水栓の場合は、「原水」にして使用してください。 ・「浄水」で使用すると水の量が少なくなり、配管の詰まりの原因になります。		
	●異物を取り除くときは、あらかじめコンセントから漏電保護プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。 噛みこんでいる場合は、『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』(8ページ)を参照してください。		
	●ゴムブーツ部はフォーク・ナイフ・包丁・串類などの鋭利なものや固いものによって損傷する恐れがあります。ご使用中および清掃の際は十分ご注意ください。 ・水漏れや誤作動の原因になります。		
	●シンク下にある排水トラップやコード・ホース類に物が触れないように十分ご注意ください。 ・水漏れ、水量不足等の原因になります。		

ご使用の前に

●アース線と電源の確認

アース線(緑色)がコンセントのアース端子に確実に接続されていることを確認してください。

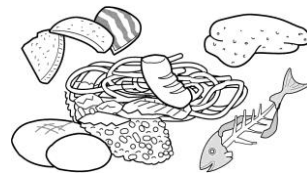
漏電保護プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。



粉碎物についてのご注意

投入できるもの

野菜くず、果物くず、ご飯、魚肉、肉類、小魚の骨、手羽元などの鶏の骨、
昆布などの海藻類、麺類、スープ、パン、菓子、揚げ物、お茶葉、残飯など



※同一生ごみ、もしくは多量の生ごみ・卵の殻の投入は排水配管詰まりの原因になります。

投入できないもの

⚠注意	🚫	●投入口に、次のような物を絶対に入れないでください。 ・ディスポーザや配管が劣化し、故障や水漏れなどの原因になります。
強い繊維質のもの、貝殻類、粉類 竹の子の皮、トウモロコシの皮・芯、栗の皮、 多量の枝豆の皮、パイナップルの芯・皮、生け花、 バナナのヘタ、アサリ・シジミ等の貝殻、 多量的小麦粉等の粉類など		不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、排水配管詰まりの原因になります。
かたい生ごみ、やわらかい生ごみ 牛骨、豚骨、中大型魚の頭や骨、多量の生米、 調理前の固い餅、かに類の殻、生魚の皮、 桃・柿などの硬い種、生肉の皮など		不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、粉碎されずに粉碎室内部に滞留する原因になります。
食品以外のもの 金属、プラスチック、陶器類、石、砂、ガラス、 紙、木類、ラップ、ビニール、たばこの吸いがら、 ゴム類、毛髪、ペットの毛など		不具合例 ディスポーザのスイングハンマや固定刃を傷めたり、故障の原因になります。
食品以外のもの(鋭利なもの、かたいもの) フォーク、ナイフ、包丁、串類など		不具合例 ゴムブーツが損傷し、水漏れや誤作動の原因になります。
薬品類、高温のもの 殺虫剤、除草剤、酸・アルカリ性洗剤、 熱湯、熱い天ぷら油、熱いカレーなど		不具合例 ディスポーザや排水配管が劣化して水漏れの原因になります。 また、処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。

●投入口に、次のような物を多量に入れないでください。

食器洗いに使用される量や、鍋などに付着している油量程度は支障ありません。

サラダ油、天ぷら油、台所用洗剤、酒類、
多量の生クリームやマヨネーズなど



不具合例
 処理槽で正常な処理ができなくなる原因になります。

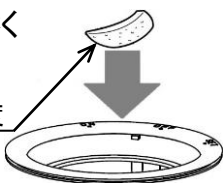
ご使用方法

1 生ごみを投入口から入れる

- 大きな生ごみは、できるだけ小さく（2～3cm 程度）刻んで投入してください。

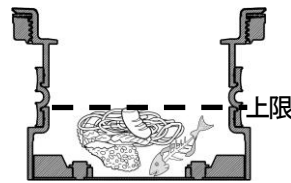
2cm～3cm 程度

・正常に粉碎できない原因になります。



- 1回の処理容量の目安は右図の上限位置までにしてください。

・生ごみの種類によりますが、目安は約200～500g までです。

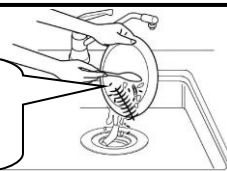


⚠ 注意

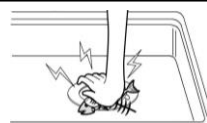


- ディスポーザに投入してはいけないものがあります。投入してはいけないものが混ざっていないか確認してご使用ください。（4ページ参照）

異常や故障を防ぐため、粉碎できない生ごみは入れないでください。



- 生ごみは無理に押し込まないでください。
・モータに負荷がかかりすぎ、故障の原因になります。
・ゴムブーツに傷がつき、水漏れや誤作動の原因になります。



（悪い例）

2 運転のしかた

YD131の場合



（この位置でフタスイッチを挿入します）



（水を流す）



（1段下に下がります）



（運転を開始します）

- フタスイッチを投入口のSET位置に合わせてはめ込み、水栓を開き給水を行ってください。
- フタスイッチを反時計方向（左方向）に回転させ、OFF位置からON位置に合わせる。
- 運転から約1分後に自動停止するので、停止したら水栓を閉じ水を止めてください。

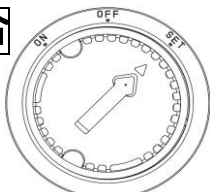
※運転中、フタスイッチ上面に若干水が溜まるありますが、シンクより水が溢れ出す危険性はありません。

⚠ 注意



- 停止後、しばらく（5秒以上）水を流してください。
・すぐに水栓を閉めると粉碎物がディスポーザ本体内に残ることがあります。

YD131Aの場合



（この位置でフタスイッチを挿入します）



（1段下に下がります）



（ON 位置に合わせる）



（水が自動的に流れます）

- フタスイッチを投入口のSET位置に合わせてはめ込む。
- フタスイッチを反時計方向（左方向）に回転させ、OFF位置からON位置に合わせる。
- 水が自動で流れた後、約5秒後に運転を開始します。
- 運転してから、約1分後に運転停止し、約5秒後に水が自動的に停止します。

※運転中、フタスイッチ上面に若干水が溜まるありますが、シンクより水が溢れ出す危険性はありません。

⚠ 注意



- 水栓を使用している状態と同時に運転を行わないでください。
・水はけが悪くなり、シンクに水がたまる原因になります。



- 水量が適量でない場合は、本体に貼ってある専用相談窓口にご相談ください。

3 粉碎が終わったら

- 音がなくなったら、フタスイッチをOFF位置に合わせる。

 警告



- 運転している途中でフタスイッチをOFFにした場合、回転が完全に停止するまで2～3秒かかります。その間はフタスイッチを開けないでください。
・粉碎物が飛び出してケガの原因になります。

 注意



- 排水性能が低下するためON位置の状態のままにしないでください。
・シンクに水が溜まる原因となります。

運転後、粉碎室に生ごみが残っている場合

- ご使用方法の2項『運転のしかた』より、繰り返し操作してください。

 注意



- 運転の繰り返しは2分(2回)をこえて行わないでください。
・モーターが過熱し、故障の原因になります。
※30分程度待ってからお使いください。

上手な使い方

- 大きいものや、かたいものは、小さく切ってから投入すると処理しやすくなります。
- 同一生ごみや、軽いもの(お茶の葉など)は、ほかの生ごみと混ぜると処理しやすくなります。
- ディスポーザをこまめに使用し、使用後は水を多めに流してください。(使用の目安は1日1回以上)
※粉碎室内に錆・水垢などがつきにくくなります。

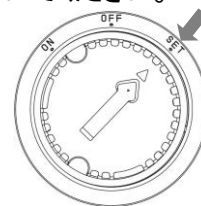
ディスポーザを使わない時

- ディスポーザを使わない時はフタスイッチを投入口のSET位置に合わせてはめ込んでおいてください。

 注意



- スプーンやフォーク等の粉碎室内への落下を防止するためにフタスイッチを投入口にはめ込んでおいてください。
・故障や水漏れ、誤作動の原因になります。



- 普段、在宅中でもほとんどご使用にならない場合は週に1回程度、お手入れを行ってください。(7ページ参照)
- 長期間ご使用にならなくなる前はお手入れを行ってください。(7ページ参照)

 注意



- 細かな粉碎カスが粉碎室内に残らないように定期的にお手入れを行ってください。
・つまりや臭いの原因になります。



- 粉碎室に生ごみを入れたまま長期間放置しないでください。
・金属部分が腐食され、水漏れや錆発生の原因になります。

お手入れ方法

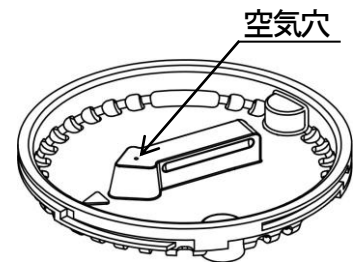
●フタスイッチ

フタスイッチの空気穴にごみ等が詰まっている場合は、つまようじ等の細い物でついてください。

※空気穴が詰まっていると排水が悪くなる原因になります。

スポンジに台所用中性洗剤をつけて洗ってください。

特にフタ裏側には、粉碎された生ごみが付着している場合があります。



⚠注意



- 付着したゴミなどを取り除く際、フタスイッチを極端にたたいたり力をかけたりしないでください。
・破損の原因になります。

●粉碎室

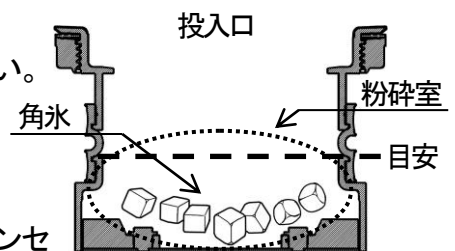
週に1回程度、右図のように角氷を粉碎室に投入して、運転してください。
細かなカスを取り除かれます。

また、ニオイが気になる場合は、生ごみを入れずに毎分8リットルの水を流しながら、約1分間運転してください。

粉碎しきれなかった生ごみが残っている場合は、漏電保護プラグをコンセントから抜いた後、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで残っている生ごみを取り出してください。

投入口は台所用中性洗剤をスポンジにつけて定期的に洗ってください。

特に油を含む生ごみを粉碎後、油膜等が投入口に付着している場合があります。



⚠注意



- 投入口のゴムブーツ部は、鋭利なものや、硬いものによって損傷する恐れがあるため、清掃の際は十分ご注意ください。
・水漏れの原因になります。



- 中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。
・処理槽で正常な処理ができなくなる他、ディスポーザの金属部分
が変色し、腐食(錆)を引き起こし、水漏れの原因になります。



●本体・漏電保護プラグ・排水管

クレンザー・シンナー・アルコール・ベンゼン・灯油などを使わず、柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた柔らかい布で拭き取ってください。

⚠注意



- ディスポーザ本体及び排水管類へ石油(灯油を含む)・有機溶剤(ベンゼン・シンナーを含む)・オレンジ成分を含む洗剤や殺虫剤を塗布しないでください。
・樹脂部品が破損し、水漏れの原因となります。

●配管

週に1回程度、フタスイッチを外して鍋や洗いおけなどに多めに溜めた水を一気に流してください。排水管に溜まりやすいものが流れます。

⚠注意

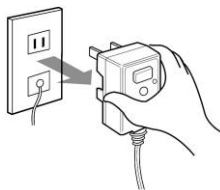


- 溜め水を流した後は、粉碎室内に異物が落下していないことを確認してください。異物を取り除くときは、コンセントから漏電保護プラグを抜いて、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。

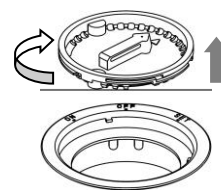


異物が噛みこんだ場合の復旧方法

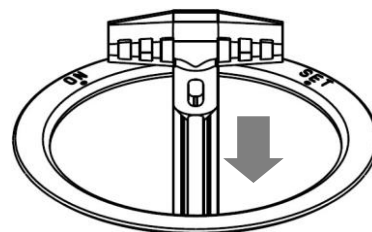
1. 漏電保護プラグを手で持ってコンセントから抜きます。



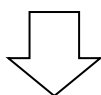
2. フタスイッチをSET位置に合わせて、投入口から外してください。



3. 投入口の中央より垂直に『噛みこみ解除工具』をターンテーブルに当たるまで挿入し、中央のボルト部にはめ込んでください。

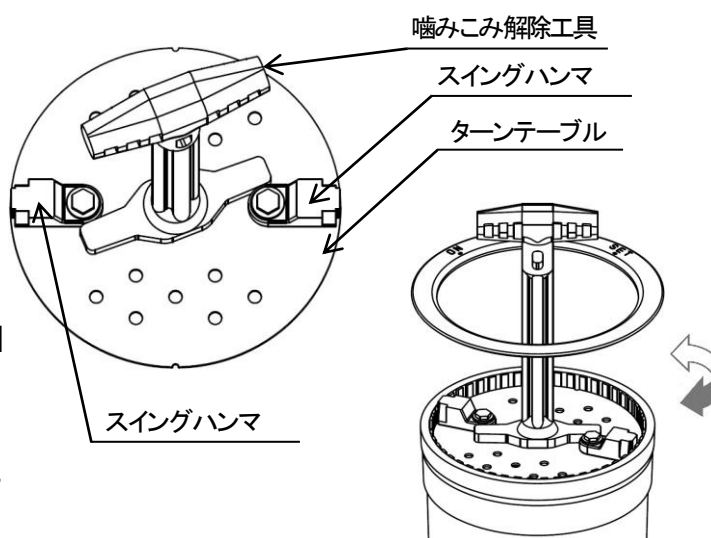


4. 『噛みこみ解除工具』を軽く左右方向いずれかに回転させると、両端部分が本体内部のスイングハンマに引っかかります。

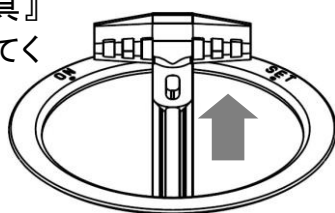


スイングハンマに引っかけた状態で強く回して、ターンテーブルが左右方向に動くことを確認してください。

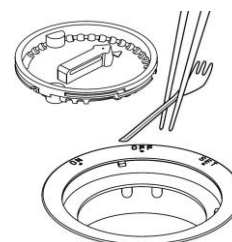
※かたい場合は、同じ要領で反対方向に回してください。



5. 『噛みこみ解除工具』を投入口より抜いてください。

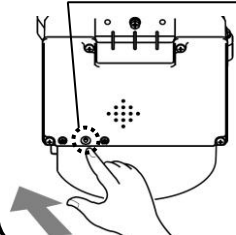


6. 噛みこんでいたものを、手を粉碎室に入れずに菜箸・トングなどで取り出してください。



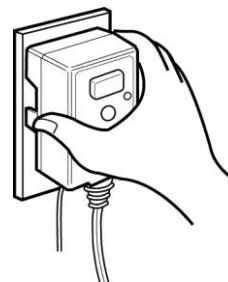
7. タイマーユニット左下にある焼損防止器(赤ボタン)をカチッと音がするまで押し込みます。

焼損防止器(赤ボタン)



※焼損防止器(赤ボタン)を押してもカチッと音がしない場合はすでに押し込まれた状態ですので、そのままにします。

8. 漏電保護プラグをコンセントに差し込みます。



※異物が噛みこんでモータに負荷がかかると、モータを保護する安全機構が作動します。

※噛みこみ停止は本体故障ではありません。

その為、保証期間中であっても、噛みこみ・つまりに伴う技術員の派遣及び修理は有償となります。

故障かなと思ったら

下記の表に従って調べてください。

【現象】	【原因】	【処置】
スムーズに排水されない。	粉碎室内の排水穴がつまっている。	水を流しながら、生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返してください。
	フタスイッチの空気穴がつまっている。	つまようじ等の細いものでついてください。 (7ページ参照)
	生ごみを入れすぎている。	投入量を少なくしてください。 生ごみを入れずに運転・停止を数回繰り返してください。 それでも直らない場合は専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
起動しない。	漏電保護プラグがコンセントに差し込まれていない。	漏電保護プラグを、コンセントに確実に差し込んでください。
	投入口にフタスイッチが取り付けられていない。	フタスイッチを投入口のSET位置に挿入した後、OFF位置からON位置の順に合わせてください。
	フタスイッチがON位置に合っていない。	
	電子タイマが作動し、自動停止している。	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせて起動してください。
	本体の焼損防止器(赤ボタン)が働いている。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って焼損防止器の作動を解除してください。(8ページ参照)
	焼損防止器(赤ボタン)の作動を解除しても起動しない。	モータの過熱が考えられますので、モータが冷えるのを待って(30分程度)再度、運転してください。自動復帰します。
	ご家庭のブレーカがOFFになっている。	ご家庭のブレーカをONにしてください。
	運転中に電源が切れた。 (落雷、停電等)	フタスイッチを一度OFF位置にした後、ON位置に合わせてください。
	漏電保護プラグのランプが点灯している。 (1ページ参照)	漏電保護プラグのリセットボタンを押してください。(1ページ参照) リセットボタンを押しても起動しない場合は、ご家庭のブレーカをOFFにし、専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
モータは回るが粉碎しない。	粉碎室に大きな生ごみが残っている。 (5ページ参照)	コンセントから漏電保護プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで取り出してください。
	粉碎室に処理できない物が滞留している。	
	スイングハンマが動かない。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
うなり音はするが起動しない。	粉碎室に異物が噛みこんでいる。	『異物が噛みこんだ場合の復旧方法』の手順に従って解除してください。(8ページ参照)
大きな音がする。	投入できないもの(スプーン等の金属や大きな貝殻等)が入っている。	コンセントから漏電保護プラグを抜いて運転が止まっていることを確認し、手を粉碎室に入れずに菜箸・トンガなどで取り出してください。
粉碎室内部に錆が発生している。	酸・アルカリ性洗剤およびパイプ洗浄剤などの使用や、粉碎室内に金属粉などが入った状態や長期間使用せずに放置すると粉碎室内に錆が発生することがあります。	軽度な錆は製品に悪影響を及ぼすことはなく、生ごみを粉碎することで徐々に取り除かれます。

【現象】	【原因】	【処置】
水漏れする。	モータ部から漏水している。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
	シンク接続部から漏水している。	
	ゴムブーツ部から漏水している。	
	排水管部から漏水している。	
	ディスポーザ本体から漏水している。	
フタスイッチが取れない。	スプーン等の異物が噛みこんでいる。	無理にフタスイッチを動かそうとすると、破損、水漏れ、誤作動の原因になりますので、専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
フタスイッチなしでディスポーザが作動する。	電子部品が故障している。	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。

YD131Aの場合

【現象】	【原因】	【処置】
ディスポーザは起動するが水が出ない。	給水管の止水栓が閉まっている。	給水管の止水栓を開いてください。
	電磁弁接続コードが電磁弁に接続されていない。(1ページ参照)	専用相談窓口にて、点検・修理を依頼してください。
	電磁弁内に異物が詰まっている。	
ディスポーザ停止後しばらくしても水が止まらない。	水栓を使用している。	水栓を止めてください。
	電磁弁内に異物が詰まっている。	ON・OFFを何度か繰り返しても改善されない場合は、給水管の止水栓を閉めて、専用相談窓口にて点検・修理を依頼してください。

異常な現象が直らない場合は、漏電保護プラグをコンセントから抜き、ディスポーザ本体に貼ってある専用相談窓口へご相談ください。

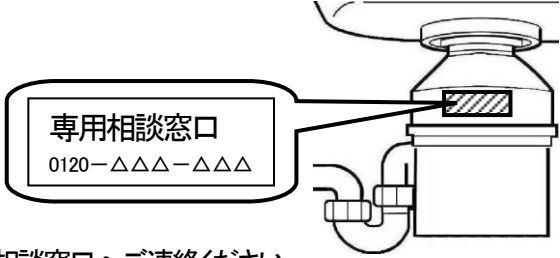
仕様

1. 使用可能水温 0℃～40℃
2. 定格周波数 50Hz／60Hz
3. 電源容量 15A
4. 定格電圧 AC100V
5. 電動機形式 コンデンサ運転式単相誘導電動機
6. 極数・定格出力 4極・130W
7. 定格消費電力 305W／400W (50Hz／60Hz)
8. 連続運転時間 2分(電子タイマ制御による自動停止機能付き)
9. 粉碎部容量 約1.5L (1回あたりの処理容量: 約200g～500g)
10. 外形寸法 幅192mm×奥行304mm×高さ236mm
11. 質量 6.5kg
12. 安全装置 焼損防止器・サーマルプロテクタ
13. 電源コード 長さ約1m
14. アース線 長さ約1m、緑色
15. 排水管 排水口φ38

アフターサービスと保証

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…

ディスプレイ本体に貼ってある専用相談窓口にご相談ください。



修理を依頼されるとき

- 9～10ページの「故障かなと思ったら」の項をご確認後、専用相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間中は、保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間中であっても、保証書の規定に沿わない場合や噛みこみ・つまり・投入できないものを入れた場合等に伴う技術員の派遣および修理は有償となります。
- 保証期間が過ぎ、修理により機能が維持できる場合は、ご希望により有償で修理させていただきます。
- 修理料金のしくみ
修理料金は、作業費・部品代・出張費などで構成されています。
作業費：診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。
出張費：お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間です。
補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

保証書

※必ず記入の有無をご確認ください。もし記入のない場合は、販売店にお申し出ください。

型 式		製造番号	
お引渡し日		保証期間	2 力 年 (お引渡し日から)
お 客 様	ご 住 所	〒 TEL	
	お 名 前	様	
販 売 店	住所・店名	TEL	

無料修理規定(保証規定)

- 取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に発生した故障については無償で修理または交換を致します。
- 保証期間内であっても、次のような場合は有償修理とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤りによる故障、破損
 - ② 不当な改造または、修理により発生した故障、破損
 - ③ 施工上の不備による故障、破損
 - ④ 火災、天災地震等の災害及び不可抗力による故障、破損
 - ⑤ お引渡し日・お客様・販売店に記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - ⑥ 噛みこみ、つまりに伴い技術員を派遣した場合
- 取扱説明書に指示する内容以外で生じた他の部分の不具合等につきましては保証致しかねます。
- 不具合の原因が不明な場合は、別途協議させていただきます。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。

安永エアポンプ株式会社

本 社 〒130-0014 東京都墨田区亀沢三丁目 4-1
TEL 03-3621-3317 FAX 03-3625-8108
名張事業所 〒518-0444 三重県名張市箕曲中村920
TEL 0595-64-0411 FAX 0595-64-4165
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土曜・日曜・祝日は除く)

872YD131M 2024. 9